

【次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンド】 エルピクセル株式会社に対する追加出資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）と株式会社 AGS コンサルティングが共同で運営する「地域ヘルスケア産業活性化基盤株式会社」を無限責任組合員とする「次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、エルピクセル株式会社（以下「エルピクセル」という。）の第三者割当増資を引き受け、追加出資を実施することを決定しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、2024 年 11 月に同社に出資しており、今回が2度目の出資となります。本追加出資は、エルピクセルが進める医療画像診断支援 AI サービスの拡大や創薬支援における研究開発プロセスの迅速化・効率化の推進、及び同社サービスのグローバル展開の加速について、初回出資後にもしっかりと進捗を見出す中、より一層の伴走支援を行うことを目的としたものです。エルピクセルのテクノロジーを活用した社会課題解決への貢献が進む中で、同社の事業意義はますます高まっており、本ファンドとしてもその歩みに強く共感し、引き続き事業成長のパートナーとして支援してまいります。

エルピクセルは、「「医療 AI ですべての人に健康な未来を」をミッションに掲げ、医療・ヘルスケアの課題を AI 技術により解決し、健康で豊かな社会の実現を目指しています。特に、ライフサイエンス領域において画像解析、機械学習/深層学習(※)技術を実用化し、医療や創薬の様々な課題を解決する製品やサービスを提供しており、画像診断への AI を応用した診断支援 AI「EIRL(エイル)シリーズ」(プログラム医療機器)や、AI の活用により医薬品の研究開発プロセスの迅速化・効率化を支援する AI ソリューション「IMACEL(イマセル)」を展開しています。また、国内での薬事承認・販売に加え、ASEAN 各国をはじめとしたグローバル展開も本格化させています。既に複数国で薬事承認を取得しており、医療アクセスの地域格差や慢性的な専門医不足といった課題を抱える地域に対し、AI によるソリューションを提供しています。

機構は本ファンドからの出資を通じて、AI 技術の導入による医療ヘルスケア産業の競争力強化に取り組み、地域医療機関の医療の質の向上や効率化、製薬企業の創薬力の強化に向けて、中長期的にエルピクセルを支援してまいります。

本ファンドは地域金融機関等と協力しながら、地域における次世代の医療やヘルスケア産業基盤の構築や雇用創出、医療提供体制の効率化や拡充等に資する事業へ成長資金の供給を行うことにより、今後も地域経済の活性化を支援してまいります。

(※) 多数の層から成るニューラルネットワークを用いて行う機械学習の手法の一つ。ニューラルネットワークとは、生物の学習メカニズムを模倣した機械学習手法として広く知られているものであり、ニューロンと呼ばれる計算ユニットの層で構成される。

【エルピクセルの展開する事業】



投融资先の概要は以下の通りです。

企業名	エルピクセル株式会社
設立	2014 年3月4日
本社所在地	東京都千代田区大手町
代表取締役	鎌田 富久
事業内容	医療画像診断支援 AI および画像解析 AI による創薬支援
ホームページ	https://lpixel.net

【次世代地域ヘルスケア産業活性化ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<https://www.revic.co.jp/business/fund/40.html>

以 上

＜お問い合わせ・ご相談の連絡先＞

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 9 階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部：TEL 03-6266-0590